

【活動報告】

四季の森公園「子どもレンジャー倶楽部」

日 時：3月22日（日）12：45～15：00 晴れ

場 所：県立四季の森公園

ワークセンター・水田周辺～北口広場

参加者：小学生4名、保護者2名、

スタッフ5名、公園職員2名

「子どもレンジャー倶楽部」は小学生を対象としたイベントで、里山での学習体験を通しての人材育成を目的としています。四季の森公園で活動する市民団体やボーイスカウトが分担して担当しています。今回は2025年度最終回でJFIKが担当、メインのアクティビティは、「春の里山ビンゴ」という25マスのネイチャービンゴでした。開会はワークセンター前、自分の名札作り、里山がどんな所かというお話、ビンゴのルールや景品の説明の後、ビンゴに挑戦です。



里山ってどんなところ？ イラストや写真を使ったホワイトボードシアターで学びました。



いよいよビンゴに挑戦。25マス全部うめるぞ



「つるやつた」発見
1マス ゲット



今日は、いつもは立ち入り禁止の
田んぼのあぜ道も歩けます。いろんな
草花やチョウを観察できました。



「白い木の花」発見
「いいにおい」もする



「カワセミ」発見

25マス完成だ！



アオサギを観察中



全員が25マス全部を埋めました。終わりに、「じぶんでみつけたはるをかんじるもの」を1人ひとり発表。最後の景品のガリガリトンボの遊び方を教わって解散しました。

当日配った「春の里山ビンゴ」と「3月の木の花・草の花」の上に置いた景品。



打ち出の小槌の絵が描かれた小袋にカラスウリのタネ3個。実は景品ではなく説明用です。ラワンの実をモデルにした紙の模型。ラワンの実も景品ではなく説明用。ムクロジの実。これは景品です。

25マス完成の景品、ガリガリトンボ。柄のギザギザのところを糸でつながった板でこすると柄の先の板が回ります。トンボの頭に模した黒い球はムクロジのタネ。